

「ポップカルチャーは日本の魅力」（武蔵野学院大学模擬授業 [埼玉県立越生高等学校]、平成 29 年 1 月 26 日）

埼玉県立生越高等学校の 2 年生を対象に大学の授業で現在どのようなものが扱われているかを紹介するための模擬授業。佐々木が担当している「国際文化交流」「ポップカルチャー」の中での実際の活用例をパワーポイントにして示した。資料も配布した。構成は以下の通り。「1 リオオリンピック閉会式の東京引き継ぎセレモニー」「2 イベントとしてのハロウィン」「3 日本の魅力とは何か」の順で論じた。東京引き継ぎ式（フラッグオーバーセレモニー）でのポップカルチャーのキャラクターに注目した。また、最近のハロウィンにも注目し、すでに現在のポップカルチャーが日本の伝統芸能と同等の魅力を持っていることから、「サブカルチャー」のではなく、日本はこうしたポップカルチャーをメインストリームにして活用している現状を論じた。その後はハンドアウト(A4 12pp.)を活用して説明した。